

不登校・引きこもり・発達障害・しょうがいなど
子育てにかかわる親の悩み、児童青年期における本人の悩み

子育てに悩む/
心の相談室

『コ・ラ・ボ』

4月9日(土)
開設!

どこに相談に
行っていいのかわ
からない

相談しようか
どうか迷ってい
る

もっと自分に
合った相談場
所を見つけれ
ない

親のなやみ
本人のなやみ
現場のなやみ



Stand by you.

相談室の扉をたたいてみてください!
次のステージが見えてくるかもしれません



【相談内容例】

子どもが学校に「行きたくない」「行かない」と言っている

ひょっとして子どもが精神的な病気なのではないか

どうも子どもを育てにくい、子育てに自信がない

子どもが高校をやめたいと言っている

●その他子育てにかかわる悩み全

【相談室の内容】 ※相談料は無料です

■対 象・・・家族・本人・関係者(学校、保健、医療、福祉等々)⇒どなたでも相談できます

■相談内容・・・主に児童・青年期における悩み

■相談受付(予約制)

・相談時間：個別面接を中心に、一人50分

・相談日：毎月第2土曜日 午後1時～4時

※電話、メールでご予約ください

●電話 048-487-3378(NPO法人コ・ラ・ボ埼玉)<平日13時～15時>

●メール kokoro@collabo-saitama.jp

■相談場所・・・志木ふれあいプラザ

(フォーシーズン志木8F・東武東上線志木駅東口下車1分) ※変更の場合あり

※お申し込み方法などの詳細等については、ウラ面をご覧ください。

主 催：朝霞保健所、NPO法人コ・ラ・ボ埼玉

協力:朝霞手をつなぐ育成会、NPO法人グローバルヒューマン、NPO法人越谷らご、NPO法人チューリップ元気の会、NPO法人ふじみの国際交流センター、NPO法人むさしの学園、埼玉県自閉症・発達障害支援センター「まほろば」、スペース・アユタカ、ピリーヴ<ひきこもり等の相談>、精神科医、小児精神科医、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、弁護士、その他専門家スタッフ

『子育てに悩む/心の相談室<コ・ラ・ボ>』が開設されます

<コ・ラ・ボ>の特色

- 1 相談者の悩みをその場で解決することが目的ではありません。
- 2 相談者の次のステージをコーディネートすることが目的です。
- 3 通訳を必要とする相談者のために「NPO 法人ふじみの国際交流センター」が参加しています。
- 4 保健所、NPO、市民(専門家スタッフ)の協働で実現した相談室です。
- 5 地域の保健所を核に、NPO、市民(専門家スタッフ)と共に新しい地域力を創造し、孤立しがちな相談者を一人でも少なくするためのモデルケースづくりです。

相談室の実施内容、お申し込み方法

相談室は毎月第二土曜日午後1時～4時に開かれます。会場は基本的には「志木市のふれあいプラザ会議室」です。ただ、会場が取れない場合は他で行います。相談料は無料です。ただし、相談を希望する場合は予約が必要です。お電話、E-mailにてお申し込みください。お申し込み後、FAX、郵送、E-mailで「受付票」を相談者にお渡しします。その後で相談者は「受付票」に記入し、FAX、郵送、E-mailで正式にお申し込みください。お申し込み後、2～3週間で相談日、時間、会場について相談者にお知らせします。

<コ・ラ・ボ>の運営スタッフ および スーパーバイザーについて

「子育て/心の相談室<コ・ラ・ボ>」は朝霞保健所を核に、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士、作業療法士、不登校・発達しょうがい・引きこもり・しょうがい・国際交流に関わる民間 NPO がボランティアスタッフとして集い、子育ての悩みでどこに相談に行ってもいかならない「孤立した相談者」にアドバイスをを行い、相談者の次のステージを探すことを目的にしています。また、精神科医、小児精神科医の先生方がスーパーバイザーとして、弁護士先生方がアドバイザーとして、ボランティアで参加しています。
